



- ◆あそび・まなび・たべる
- ◆老壮若が出会い、遊び・子育て・学習を支援。
- ◆近所に子ども食堂を！

すくすく通信 第4号  
2017年12月28日発行  
発行：一般社団法人すくすく広場  
代表：坂本佳代子  
事務局・発行所  
〒347-0031 加須市南町7-67 戸恒方  
Email [tozune@outlook.jp](mailto:tozune@outlook.jp)  
<http://k-sukusuku-hiroba.org/>

## あそび・まなび・たべる=すくすく広場のこの1年

加須の地域に子ども食堂を！を目指して一般社団法人すくすく広場が発足してから、ちょうど1年が経ちました。この間、会員の皆さまの熱心なご支援と、地域の皆さまのご理解を得て、順調に歩みを進めてまいりました。深く感謝しております。

### ①すくすくのあそびのひろば

私たちの活動の基本をなす「あそびのひろば」を、毎月1回、第3土曜日を中心に欠かさことなく、続けてまいりました。

会場はこれまで、騎西コミュニティセンター、加須ふれあいセンター、市民プラザかぞ、羽生の杜などをお借りし「まず知ってもらおう」ことに努力して来ましたが、このところは「使い勝手の良い」不動岡公民館に定着してまいりました。ここでは、美しい植栽のある素敵な環境に囲まれて、立派な調理室と食堂を中心に、広々とした和室、個別相談に使える小部屋まで完備しており、「食べることに重きを置いた私たちにとって、願ってもない施設が整っていて、室内・屋外問わず、多彩な活動が展開できる場所です。

参加者に提供する食事の数は、毎回40～50食となっており、子どもさんが15～20名、親御さんとスタッフがそれぞれ12～15名位で、最近では赤ちゃんを抱っこし、幼児の手を引いた、育児真っ盛りの若い夫婦の参加が多くなっているのが特徴です。離乳食を準備して喜ばれています。

大体のプログラムは、子どもたちが食事作りに参加するところから始まり、次いで午前中のメインが「丸ちゃんのかぐあそび」。楽しく和やかなお昼ごはんを挟んで、午後は外遊びや集団遊び、室内に戻っての絵本の読み聞かせや親子体操などのあと、短い終わりの会で終了しています。この間、育児や生活についてのご相談にも応じているのが特徴で、スタッフは何時でも不足気味なくらいの盛況で、学生さんのボランティアがとてもありがたい状況です。

また、上尾のシラコバト団地でも聖学院大学との共催で、こどもの日、ハロウィン、ひな祭りなどの子どもイベントを続けています。(次回は3月3日)

### ②小中高生の勉強会

5月から毎週木曜日に、学習支援委員会が、市民プラザかぞで勉強会(無料塾)を開いています。

3人の高校生から始まり、宿題を中心に学校の学習に興味を持って楽しく頑張れる力を支援することを目的に、毎回1対1の贅沢なほどのスタッフが関わって来ましたが、夏休みに開いた3日間の集中勉強会(のべ15時間。参加者のべ60人)を契機に小・中学生の参加も増え、現在では常時10～13人が熱心に勉強しています。同じ階にある加須市の教育センターの先生方もバックアップしてくださっていて、学校生活に自信が持てずにいる子ども何人か、ここでは明るい笑顔で過ごしてくれています。

### ③地域に小さな子ども食堂を！

「あそびひろば」と「勉強会」を続けながら、「ごく近所にある小さな子ども食堂」を何とか作りだしていこうと、公民館のある南町地区、三俣地区、騎西地区あたりを考えて来た経過がありますが、なかなか具体的なきっかけがつかめずにいた中、この12月から南町2区に地元の方の相談と発案で「つくしの家」を開くことが出来ました。いざ始めてみると、「まさか、貧しい子のための…なんて言えないしなあ」などと、いろいろとためらってきたのがウソのように、子どもたちの実像が見えてきたという実感があります(=戸恒会員)。「宿題の面倒を見るよ。おなかがいいたらおにぎりくらいは出るよ」と呼びかけて、集まった10名ほどの子どもたちの愉快な関係に依拠しながら、そのうちに、個別に支援を必要とする親子との関係を深めていけばよいことが見えてきたのです。1回目から、10名の子どもが参加し、きっかけを作ってくれたPTA会長さんや、喜んでくれている校長先生や町会長さんの応援もあって、これからが楽しみです。

さらに新年度になる4月からは、三俣公民館で「あそびひろば」を開催して、次のきっかけを探すことも考え始めています。また、愛泉園からは、「うちの施設も生かしてほしい…」という有り難いお申し出をいただいています。

#### ④各委員会の活動

**子ども食堂委員会** 毎月の「あそびひろば」のお昼ごはん、夏冬の集中勉強会のご飯作りを担当して、「もっと人手がほしい!」と、忙しく楽しく活動しています。季節や旬のお野菜のことを考えながらお献立をし、安心して食べられるおいしい食事には、毎度ながら、一緒に食べる大人たちも思わず感動してしまうほどです。これらのすくすくメニューはホームページに写真入りで載せてありますから是非ご覧ください。それより味わっていただくのが本当ですね!

お米や野菜をはじめ、食材はすべて「これなら安心できる。本物のお味を子供さんたちに覚えてほしい」と吟味しています。実際そのために提供者が、ご自分の畑で計画的に栽培してくれていますから、どれも胸を張ってお進めできるものばかりです。菊池会員からは手焼きの食器をいただき、使っています。

また、衛生管理と食物アレルギー対応には特に注意を払っており、この1年で2度ほど保健所に伺って指導を受けたほか、管理栄養士のスタッフを中心に、皆さんが初心に帰って研修しながら取り組んでいます。

#### **学習支援委員会**

先の②の小中高生勉強会を進めるにあたり、学校とも塾とも違う立ち位置にありながら、どのような目的で学習支援を進めたらよいか一常に意識しながら進めています。教員を退職したベテランが多いので、それぞれに一言を持った方たちですから、どんなふうに仲良くやっているか一は見ものです?どうぞ激励にお立ち寄りください。来年度、補助金の見込みがつけば、ここに学生アルバイトを入れ、若手の養成を兼ねて行こうとの考えもあります。

#### **研修委員会**

年2回の大研修(地域に公開)、月1回程度の小研修(すくすくサロンで行う)を積み重ねています。

大研修は、

第1回; 記念講演 金谷京子理事(聖学院大学子ども心理学科教授)

第2回が; 演題「科学の楽しみ」丸山綱男理事(聖学

院大学教授)

第3回; 「子ども食堂の現状と展望」湯浅誠氏(社会活動家・法政大学教授) 2018年2月18日開催予定。

小研修では、

8月; 夏休み勉強会の反省 学習支援のねらい

9月; 愛泉園を見学しお話を聞く会

12月; かぞびばレポートをもとに、あそびへの大人のかかわり方を考える

一などで、河野京子さん(学習支援委員長)、小熊永枝さん(子ども食堂委員会)、鈴木智子さん(新会員)がレポートを担当してくださいました。それぞれの記録集も出来ています。いずれも、会員や身近な方をレポーターにしていることが特徴です。

さらに今後は、食物アレルギーの対応と衛生管理、放射能と食物、社会福祉の現状と課題、医療事故と私たち、保育現場で考えてきたこと一などなど、具体的に顔の見える関係の中で、相互研修を深めていきたいと願っています。

#### **広報委員会**

ア、HPの更新と管理=丸山理事と庭山正幸さん

イ、SUKUSUKUGUIDEの送信=関口理事

ウ、すくすく通信他=年に3~4回、会員に郵送。

エ、市の子育てメールの送信依頼=浦部理事

オ、チラシの編集・印刷と配布=戸恒理事ほか

一を分担して行っています。

会員の皆さんには、ホームページを折々にご覧いただきたいと思います。きれいな写真入りで、雰囲気伝わるといい工夫しています。お問合せのバナーからは、便利に事務局あてに連絡ができます。

[//k-sukusuku-hiroba.org/](http://k-sukusuku-hiroba.org/)

また、インターネットをお使いになられている方は、事務局に登録していただくと郵送費が節約できますので、なるべくお申し出ください。

#### **これからの予定**

○すくすくのあそびのひろば

1月7日、2月11日、3月18日

○講演会; 湯浅誠氏 2月18日1:00~

○中高生勉強会 1月11日から毎木曜日

○サロン 1月18日、2月15日

**※会員の方は、ぜひ会場を覗いてください。いつでもお待ちしております。**